

SSフィニッシュ用インターホンの使用方法

1. インターホンを使用し、SSフライングフィニッシュより、ストップポイントへのフィニッシュ時間の連絡を行います。
2. 使用機器
 - ① フライングフィニッシュ : 外部インターホンを使用
インターホンにイヤホン接続して使用
本体を置く場所が無い場合、インターホン本体を首から下げて話す。
 - ② ストップポイント : 受話器を使用
3. コードの敷設
フライングフィニッシュよりストップポイントまで電話線を敷設する時、競技車両に電話線を踏まない位置に敷設する事。
4. インターホンの使用方法
 - 1) フライングフィニッシュのオフィシャルは呼び出しボタンを押して、ストップポイントのオフィシャルを呼び出す。
ストップポイントのオフィシャルが出たら、インターホンに向かって話す。
インターホンは集音性があるので首から下げた状態で相手側は聞き取れます。
 - 2) ストップポイントのオフィシャルは呼び出し音が聞こえたら、受話器を取りフライングフィニッシュのオフィシャルから通過時間の連絡を受ける。

SSフィニッシュ計時方法

I. 時計

光電管のバックアップ用としプリンティングストップウォッチを使用します。

- ① プリンティングストップウォッチでは分秒の計時をします。
- ② バックアップが通常のストップウォッチの場合は秒、分(スタートセットにより分或いは分の下1桁)を計時し、時については電波時計他各自の時計で把握して下さい。
- ③ 電波時計が配布されている場合は電波時計でストップウォッチの時刻合わせをして下さい。
電波時計が無い場合はNTTの117で時刻を合わせて下さい。

II. プリンティングストップウォッチの使用方法

基本的には00分00秒オートスタートによるスプリットタイムにより分秒を計時して下さい。

1) スプリットタイムでの計測

分秒のみプリンティングタイマーにより計時、グリップスイッチを押した分秒が上段(スプリット)に表示され、プリントアウトされる。また、データがメモリーされるので、後で再確認が可能。

1. 時刻を合わせる。(取り説9. 項参照)

時刻表示にし、LAP/SPLITボタン(赤ボタン)を押して、秒を点滅させ00秒でSTART/STOPボタン(黒ボタン)を押す。

その後LAP/SPLITボタンを押して、分・時・年・月・日・IDをセットし(変更する場合START/STOPボタンで数字を進めます)最後に点滅が消えれば時刻合わせは終了。

※注意、時刻表示で誤ってLAP/SPLITボタンを押してしまうと、時刻合わせになってしまいます。

2. オートスタート時間を設定する。

オートスタート時間はSSフィニッシュ予定時間の1~2時間前の00分を設定する。

A/S SETを押してオートスタート時間の時分を設定する。(取り説7. 項参照)

A/S SETを押した後、LAP/SPLITボタンを押して、分が点滅したら00分に合わせる。

(START/STOPボタンを押すと数字が進みます。)

また、LAP/SPLITボタンを押して、時を合わせ、更にLAP/SPLITボタンを押して点滅を止める。

3. STOP.Wボタンを押して、ストップウォッチ表示にする。

4. ロックレバーでSTART/STOPボタンをロックする。

5. グリップスイッチを取り付ける。(ジャックの差込に注意、最初に取り付けても良い)

6. 側面のグリップスイッチ切り替えスイッチを上側にする。

グリップスイッチ切り替えスイッチを上側にする、ストップウォッチ本体のSTART/STOPボタン、LAP/SPLITボタンは押しても機能しなくなります。

7. オートスタート機能で00分00秒にてオートスタートさせる。

8. プリンターの電源を入れる。

9. 競技車が通過したらグリップスイッチを押す。

10. グリップスイッチを押したスプリットタイムがディスプレイに表示される。

11. スプリットタイムが印字される。

12. スプリットタイムの分秒及び時をインターホンにてストップ地点のオフィシャルに連絡します。

13. 全車通過したら、ロックレバーを解除し、グリップスイッチ切り替えスイッチを下側にし、STOPボタンを押す。

14. 以上で時間計測は終了です。プリンター電源スイッチを切る。

15. メモリーでスプリットタイムを確認する時は、RECALLボタンを押して表示を合わせ確認する。

2) 時刻での計測

スプリットタイムでの計時中、誤ってSTOPになってしまった場合、時刻での計時に切り替え、計時を継続する。

※時刻での計測の注意点

グリップスイッチを押した時刻が、時分秒までプリントアウトされるが、プリントアウトのみで、計測時間がディスプレイに表示されないし、メモリーもされない、プリンターの調子が悪い時、計測時間が分からなくなる危険性有り。

※スプリットタイムから時刻での計測に変更する方法。

1. グリップスイッチ切り替えスイッチを下にし、ロックレバーを解除し、ストップウォッチの表示をリセットした後時刻表示にし、側面のグリップスイッチ切り替えスイッチを上側に戻す。

2. 競技車が通過したらグリップスイッチを押す。

3. 通過時刻がプリントアウトされる。

※ストップウォッチに表示部には表示されない、注意すること。